

# りんごだより

草笛学園 2024年 (3月最終号)



## 1年間ありがとうございました

穏やかな日差しに春のお訪れを感じる季節が近づいてきました。4月から始まったりんご教室では、子ども達の“楽しい”“やってみよう”という気持ちを引き出せるように、一年間取り組んできましたね。ふり返ってみて、皆さんどうですか？

わが子の発達に不安があったり、落ち着きがなく、集団参加が苦手だったりする子どもたちが大好きな保護者の方と一緒に楽しい遊びや活動を通して、手応えや意欲を感じたり、得意なことで力を発揮し、みんなに認められたり、自分のよさを感じたりすることを大切にしてきました。

保護者の皆様とは、親子で活動することを通して、どのようにお子様と向き合ったら良いのか、気になる行動の中にある理由と一緒に考えていきましたね。また、懇談では、共通の悩みを持つ保護者同士、日々の子育ての中での悩みや思いを出し合いながら、支い合える仲間作りの場になればと考えていましたが、不十分な所もあり、すみません。

来年度、外来教室を継続される方は、『ばなな教室』です。木曜日の午後が開催日になるので、お気をつけ下さい。ばなな教室では、色々な活動を通じて、子ども達の得意なこと、苦手なことを探っていきます。得意なところで力を発揮し、そのことをみんなに認めてもらいましょう。苦手なことは、大人や友だちを支援に、じっくりと挑戦していきたいと思っています。

わからないことや、子育ての悩みなどがあれば、いつでも相談して下さいね。一緒に考えていきましょう。これまでたくさんのご参加、ご協力ありがとうございました。年中さんになっても頑張ってくださいね。

### 意欲を育てるお手伝い

「食事のしたくをしようとする」とよってくる」「新聞を見ていると、ひざに乗りにくる」など、1歳を過ぎたころから、子どもはおとなのすることに興味を持ち始めます。一見邪魔をしているように思えて、やっかいな時期です。特に忙しい時等イライラの原因となりますね。この頃の子どもへのかかわりのキーワードは

『こんな小さな時期からお手伝いができるの?』と思われるかもしれませんが、工夫すれば子どもにもできることがたくさんあります。たとえば、「お米をとぐ」こともそのひとつです。大人と同じようにはできませんが、お米をかきまぜる、カップで水を入れるなどは喜んでします。この頃のお手伝いの難点は、往々にして失敗するので後始末が大変なことです。大人には気持ちと時間の余裕が必要です。失敗をするとわかっていることを子どもにさせることに、どんな意味があるのでしょうか。この時期の子どもは「憧れの大人と同じことがしたい」という気持ちでいっぱいです。模倣をしながらたくさんの経験を積みます。失敗をしながら大人に助けられて同じようにできた時に、「ヤッター」という気分になります。そしていちばん大切な「もっとしたい!」という意欲が育ちます。経験が長い人生を意欲的に生きていく土台作りになるといっても過言ではありません。

今日から始める安心子育て 笑顔で向き合って 池添 素 著

次のりんご教室は…

りんご教室①…3月4日(火) 9:20~11:15

→『ふるーつばすけっと』を行います

りんご教室②…3月はありません

◎持って来るもの: 水筒・シューズ・必要に応じて着替え

※保護者の方も動きやすい服装でお願いします

<来年度の外来教室について>

ばなな教室①…第1木曜日【13:00~15:00】

ばなな教室②…第3木曜日【13:00~15:00】

※3月下旬に各家庭に日程や時間などの詳しい案内を郵送いたします。確認のうえ、ご参加ください

### りんご教室の方へのおねがい

『来年度の外来教室についてのアンケート』を未回答の方は、右のQRコードを読み取って2月17日(月)までにご回答ください。ご協力よろしくおねがいします。

